

Narita Airport News

NAN

2012年12月18日 No.247
臨時号

年末年始の旅行動向

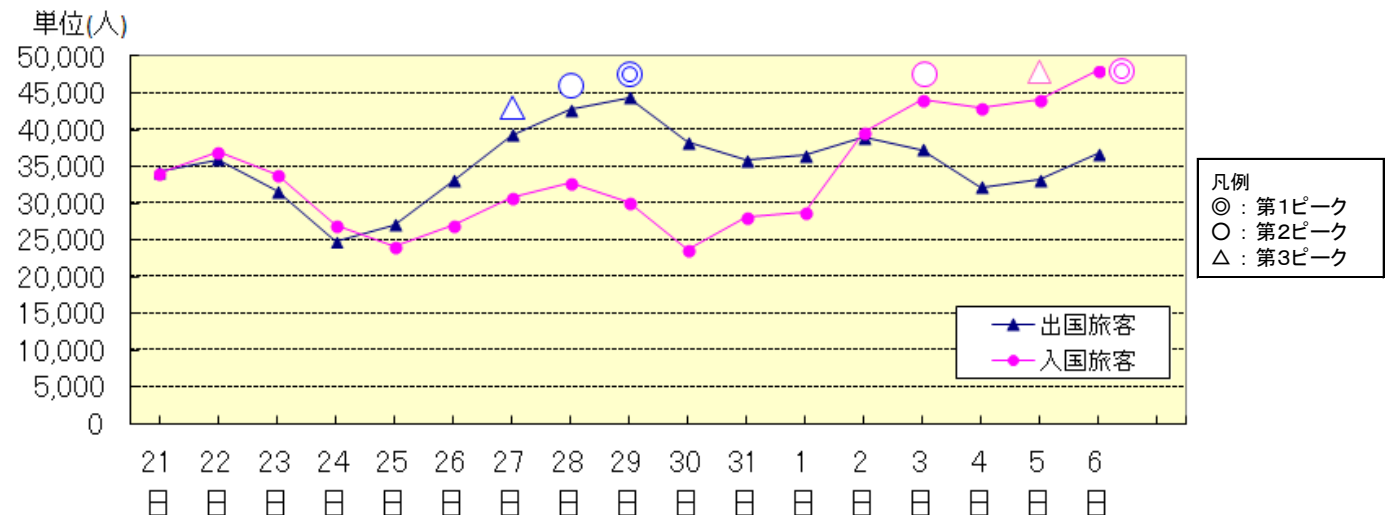
NAA 発表の2012年末年始旅客推計によると、12月21日（金）から1月6日（日）の17日間に成田空港を利用する旅客数は前年比5.4%増の約118万人を見込んでいます。

年末年始の日並びが良いことから、欧州などの長距離方面や、グアム・ハワイといったリゾート地への旅行需要が高まり、前年を超える予測。出国ピークは12月29日（土）44,400人、入国ピークは1月6日（日）48,000人と予測しています。

単位(人)

区 分	出 国				入 国				合 計		
	2011年実績数 計	2012年推計数			2011年実績数 計	2012年推計数			2011年実績数	2012年推計数	
		計	1ビル	2ビル		計	1ビル	2ビル			
2012/12/21	金 ○	38,711	34,300	20,700	13,600	31,819	34,100	20,200	13,900	70,530	68,400
12/22	土	30,798	36,000	20,400	15,600	32,554	36,900	21,200	15,700	63,352	72,900
12/23	日	25,899	31,600	18,200	13,400	32,001	33,800	20,100	13,700	57,900	65,400
12/24	月	26,995	24,800	14,500	10,300	25,992	27,000	15,900	11,100	52,987	51,800
12/25	火	33,596	27,100	16,400	10,700	26,695	24,100	14,700	9,400	60,291	51,200
12/26	水	36,739	33,100	19,700	13,400	29,313	27,000	16,600	10,400	66,052	60,100
12/27	木 ◎	42,529	△ 39,300	23,400	15,900	31,635	30,800	18,900	11,900	△ 74,164	70,100
12/28	金 ○	37,085	◎ 42,700	26,300	16,400	31,998	32,700	19,900	12,800	69,083	75,400
12/29	土 ◎	31,291	◎ 44,400	25,800	18,600	27,602	30,200	17,700	12,500	58,893	74,600
12/30	日	29,150	38,400	21,900	16,500	23,254	23,600	14,300	9,300	52,404	62,000
12/31	月	34,542	35,900	21,200	14,700	35,801	28,200	17,200	11,000	70,343	64,100
2013/1/1	火 △	37,551	36,500	22,400	14,100	◎ 42,255	28,700	17,200	11,500	◎ 79,806	65,200
1/2	水	35,540	39,000	23,500	15,500	◎ 41,291	39,600	23,400	16,200	◎ 76,831	△ 78,600
1/3	木	32,137	37,300	22,600	14,700	△ 37,978	◎ 44,200	26,200	18,000	70,115	◎ 81,500
1/4	金	27,326	32,200	19,400	12,800	32,695	43,000	24,800	18,200	60,021	75,200
1/5	土	31,877	33,200	19,700	13,500	33,402	△ 44,000	25,100	18,900	65,279	77,200
1/6	日	32,366	36,700	21,800	14,900	37,534	◎ 48,000	28,300	19,700	69,900	◎ 84,700
合 計		564,132	602,500	357,900	244,600	553,819	575,900	341,700	234,200	1,117,951	1,178,400

※2011年の実績は、2011年12月23日(金・祝)から2012年1月8日(日)までの旅客数を採用



成田空港の一年

2012年、成田空港は2月に航空旅客数が8億人を突破。3月には年間発着容量が25万回へ拡大しました。13年夏季ダイヤからの発着容量27万回化に向けて日本とオープンスカイ協定に合意した国は23カ国となり、国際線ネットワークの強化が着々と図られています。

7月以降、成田を拠点に国内LCC2社が就航。国内線の旅客数は7月から4ヶ月連続で200%以上の増加となり、まさにLCC元年の年となりました。

弊誌記事から、今年の成田空港の主な出来事を振り返ります。

- 2月6日 開港35年目にして航空旅客8億人を達成【3月号】
- 3月25日 年間発着容量が23.5万回から25万回に拡大【4月号】
国内線用発着枠3.1万回を撤廃【4月号】
- 3月29日 第1・2PTBの店舗エリアにデジタルサイネージ第1弾登場【5月号】
- 3月31日 ビジネスジェット専用ターミナル 供用開始【4月号】
- 4月5日 LCC専用ターミナル候補地決定。14年度中の完成目指す【5月号】
- 5月30日 国内線旅客数3,000万人を突破【7月号】
- 6月26日 デジタルサイネージ「SKY GATE VISION」運用開始【7月号】
- 7月3日 ジェットスター・ジャパン新規就航【7月号】
- 8月1日 エアアジア・ジャパン新規就航【8月号】
- 9月12日 第2PTB南側国内線暫定施設オープン【9月号】
- 10月23日 第2PTB北側国内線暫定施設オープン【11月号】
- 10月28日 エアアジア・ジャパン 成田から仁川へ国際線の運航開始【11月号】
- 11月13日 NAA 国際線の着陸料等の引下げ発表【12月号】
- 12月12日 成田空港の国際航空貨物量の累計が5,000万トン達成【12月増刊号】
- 12月13日 A滑走路の南側着陸滑走路長4,000mで運用開始【9月号】

成田の貨物量 累計 5000 万トン達成

成田空港の国際航空貨物取扱量が12月12日(水)、累計5,000万トンを達成しました。1978年5月20日の開港以来、34年7カ月での達成となります。

これを記念してNAAでは式典を開催。整備地区807番スポットでNCA175便(サンフランシスコ-成田10:45着)から記念貨物の取り卸しが行われ、式典ではNAA社長からの挨拶の後、NCA機長への花束贈呈が行われました。

〈参考〉

- ◆ 1,000万トン達成
1991年1月(開港から12年8カ月)
 - ◆ 2,000万トン達成
1997年10月(1,000万トン達成から6年9カ月)
 - ◆ 3,000万トン達成
2003年5月(2,000万トン達成から5年7カ月)
 - ◆ 4,000万トン達成
2007年11月(3,000万トン達成から4年6カ月)
 - ◆ 5,000万トン達成
2012年12月(4,000万トン達成から5年1カ月)
- ※東京税関資料より

羽田の発着枠 配分決定

国交省は13年3月から羽田空港で増える国内線発着枠25枠の配分を決定しました。発着枠の配分は下表のとおりです。

航空会社への配分基準については有識者会議が今年7月から5回にわたり開催され、検討されてきました。

JALは、公的資金を受け経営再建した影響によりSKYより少なく、厳しい結果となりました。

1日あたりの発着枠

(単位:便)

	現在	今回の配分	配分後
日本航空	180.5	3	183.5
全日空	163.5	8	171.5
スカイマーク	32	4	36
エアドゥ	21	2	23
スカイネットアジア	22	3	25
スターフライヤー	14	5	19
合計	433	25	458

※出発枠又は到着枠のみ配分したものは0.5便としてカウント

国交省 カーフェュー 緩和を提案

12月14日、国交省は成田市など9市町に対し、成田空港の発着制限について、23時から0時までの離着陸と5時台の着陸について、やむを得ない場合に限り、弾力的に運用することを提案しました。

適用するのは、天候や滑走路・誘導路の混雑などが理由の場合。機材メンテナンスの遅れなどが原因の場合は認めません。対象は低騒音機に限ります。提案では、通常の着陸料と同額の割増料金を徴収し、割り増し分は地元に戻元するとしています。

深圳航空 スターアライアンスに加盟

深圳航空(CSZ)は11月29日、スターアライアンスに加盟しました。同アライアンスに加盟するのは中国系としては中国国際航空(CCA)に続き2社目となります。

今回の深圳航空の加盟により、スターアライアンスの加盟航空会社は27社、成田空港乗り入れ会社は18社となりました。

国内線の定時運航率 発表

国交省はこのほど、12年7月～9月の本邦航空会社の国内線旅客輸送情報を公開しました。

発表された各社の定時運航率は、JAL95%、ANA94%、SKY85%、JJP74%、WAJ43%。エアアジア・ジャパン(WAJ)の定時運航率が低いことがわかりました。

遅延の主な要因は機材繰り、チェックイン作業や混雑時間の航空機の待機等による遅れでした。

報道ではジェットスター・ジャパン(JJP)の欠航が頻繁にとりあげられていますが、同社の遅延率はWAJの半分以下です。

なお、10月から12月14日までの同社の定時就航率は約70%まで回復しています。

TOPICS

年末の清掃活動 空港全域で

12月11日、空港従業員約500名がエプロン地区から空港南側周辺道路などの清掃を行いました。

NAAと芝山町、エコ・エアポート推進協議会およびCS協議会の4機関による共催で年に数回実施行され、24回目を迎えた今回は、約256kgのゴミを回収しました。

参加者から

は「以前参加した時から比べゴミの量が減っている」「A-5内筒易立体駐車場2階に捨てられた空き缶が多いのに驚いた」などの声が聞かれました。



年末年始のお知らせ & イベント情報

スカイライナーの支払いはファミマで

ファミリーマートと京成電鉄は、11月27日から「スカイライナーインターネット予約サービス」を開始しました。予約した「スカイライナー券」と「シティライナー券」の代金の支払いと受け取りが全国のファミリーマートで可能になります。

これまででは、京成上野駅などのスカイライナー乗車駅のみでの取り扱いでしたが、これからは最寄りのファミリーマートで乗車券を受け取り、そのまま改札口を通過、予約便に乗車できます。

航空科学博物館のイベント

「クリスマスコンサート」

日 時 2012年12月23日(日)

1回目12時00分～12時30分

2回目15時00分～15時30分

会場 館内1階西棟展示室

費用 入館料のみ

内容 クリスマスソング中心のコンサートを聴きながら飛行機に囲まれて楽しいひと時をお過ごしください。

「一番機と初日の出をみよう」

日 時 2013年1月1日(火) 5時00分～17時00分

会場 航空科学博物館内

費用 入館料のみ

内容 朝5時に開館し成田空港に新年初めて飛来する1番機と初日の出を5階展望展示室からご覧いただけます。

★年末は12月29日～31日まで休館、2013年は元旦から開館します。

【お問い合わせ】 航空科学博物館 0479・78・0557

第24回講演会

振興協会では11月29日、「第24回講演会」を開催しました。当日は官公支署、空港関連企業、周辺市町の方々等約420名の聴講者で会場が埋まりました。

第一部は、国土交通省航空局長田村明比古氏が「航空政策の課題と今後の方向性」をテーマに、成田空港における30万回化へ向けた取り組みや他空港との比較、空港経営のあり方などについて講演しました。第二部の宇宙飛行士山崎直子氏は「宇宙、人、夢をつなぐ」をテーマに、訓練の様子や壮大な宇宙での体験など、貴重な話を講演しました。

航空局長の講演内容については次号(1月号)で紹介いたします。



財団法人 成田国際空港振興協会
NARITA INTERNATIONAL AIRPORT PROMOTION FOUNDATION